

内装材利活用の什器設置 モレラ、環境に配慮PR

退店テナントの内装材を活用したプランターカバーとサインスタンド＝本巣市三橋、モレラ岐阜



大型ショッピングセンター(S.C.)のモレラ岐阜(本巣市三橋)で、退店したテナントの内装材を活用した木製什器が1階共用部に設置された。SDGs(持続可能な開発目標)達成に

力を入れるS.C.の取り組みで、環境に配慮した施設整備をPRする。

木製什器は商業施設やチーンストアの空間デザインを手がけるスペース(東京)が製作した。同社

は今春の施設リニューアルで退店した一部テナントの原状回復を担った。回収した壁面装飾や棚板を使い、植木鉢を囲う「プランターカバー」と来店客への案内を掲示する「サインスタンド」に生まれ変わった。

1階の3カ所に設置しており、25日には同社リプロダクト推進室の担当者が現地で製作背景を説明した。